

会計事務所・企業を対象とした「会計事務所白書」 生成 AI に関する実態調査第 2 弾

～企業の半数以上は生成 AI を利用したことがある一方、
会計事務所の 6 割以上は利用経験なし。生成 AI 利活用にあたり
「セキュリティ」「従業員のスキルアップ・教育」に高い課題意識～

財務・会計システムおよび経営情報サービスを開発・販売する株式会社ミロク情報サービス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：是枝 周樹、以下「MJS」）は、全国の会計事務所および企業・事業主など 1,159 名を対象に、生成 AI に関する実情や考え方などを調査し、その結果を「会計事務所白書」（<https://www.accnt.jp/report/2024v2/>）として税理士・公認会計士事務所探しをサポートする検索サイト「会計事務所検索エンジン」（<https://www.accnt.jp/>）に公開しました。



近年、生成 AI の普及が急速に進み、会計事務所や企業のバックオフィスにおいても、生成 AI 活用による業務効率化の推進が期待されています。こうした中、MJS では 2024 年 3 月に第 1 弾となる「生成 AI に関する実態調査」（<https://www.accnt.jp/report/2024/>）を実施し、生成 AI に対するイメージや導入、活用の状況などを明らかにしました。

今回は、第 2 弾として生成 AI の導入、活用状況や今後の活用意向の変化、利活用にあたり取り組むべき課題の認識などについて調査しました。

ここに調査結果の要旨をご報告いたします。

■調査概要

調査名	: 会計事務所白書 生成 AI に関する実態調査 第 2 弾 (会計事務所編/企業・事業主編)
調査主	: 株式会社ミロク情報サービス
調査対象	: 合計 1,159 名 —会計事務所(職員含む) 210 名 —企業のバックオフィスまたは IT 担当者、事業主 949 名
調査期間	: 2024 年 11 月 15 日(金)～2024 年 12 月 1 日(日)
調査エリア	: 全国
調査方法	: インターネット調査

■ 調査結果(要旨)

- ・生成 AI を使ったことがある会計事務所は 39% (前回調査時 37%)、生成 AI を使ったことがある企業・事業主は 55% (前回調査時 50%)
- ・利用したことがある生成 AI は会計事務所、企業・事業主ともに『ChatGPT』が最多
- ・今後生成 AI を活用したい業務は、会計事務所の場合「データ分析」が 58%、企業・事業主の場合「データ分析」や「文書や画像などのコンテンツ作成」がどちらも半数以上
- ・生成 AI を利活用するために取り組むべき課題について、会計事務所は「データのプライバシーとセキュリティの確保」が 55%、企業・事業主は「データのプライバシーとセキュリティの確保」と「従業員のスキルアップと教育」がともに 61%

※調査結果をウェブで公開中です <https://www.accnt.jp/report/2024v2/>

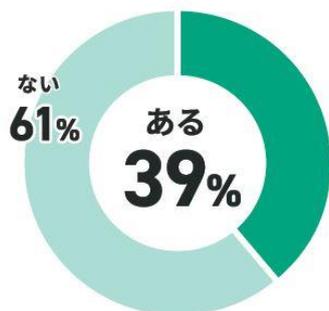
■ 調査詳細 (一部)

— 生成 AI の利用状況 —

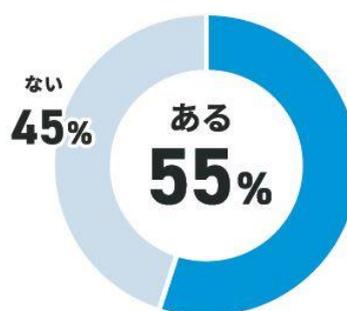
- ・会計事務所では、使ったことが「ある」が 39%、「ない」が 61%
- ・企業・事業主では、「ある」が 55%、「ない」が 45%
- ➔半数以上の企業が生成 AI を活用しているのに対し、会計事務所では 6 割以上が使用しておらず、生成 AI の導入や活用が進んでいない状況

Q 「生成 AI」を使ったことはありますか？

< 会計事務所編 >



< 企業・事業主編 >



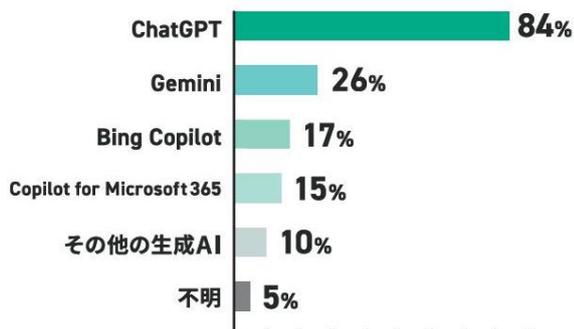
— (生成 AI 利用者について) 利用したことがある生成 AI —

- ・利用したことがある生成 AI は、会計事務所では『ChatGPT』が 84%、次いで『Gemini』が 26%
- ・企業・事業主では『ChatGPT』が 76%、次いで『Gemini』が 30%
- ➔会計事務所、企業・事業主ともに『ChatGPT』が最多となり、業務での活用が進んでいる

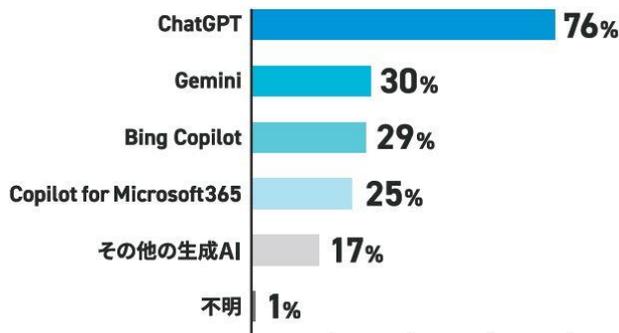
Q (「生成 AI」を使ったことが「ある」と答えられた方について)

どのような「生成 AI」を使われましたか？ ※複数選択可

< 会計事務所編 >



< 企業・事業主編 >

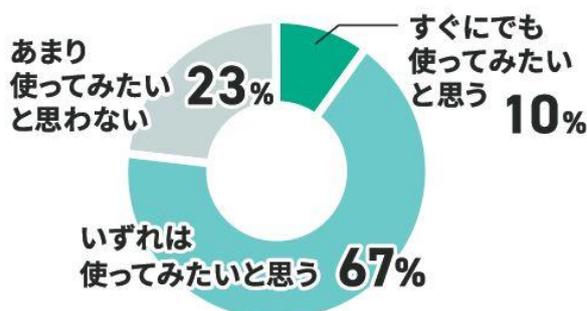


— (生成 AI 未利用者について) 今後の生成 AI 活用の意向 —

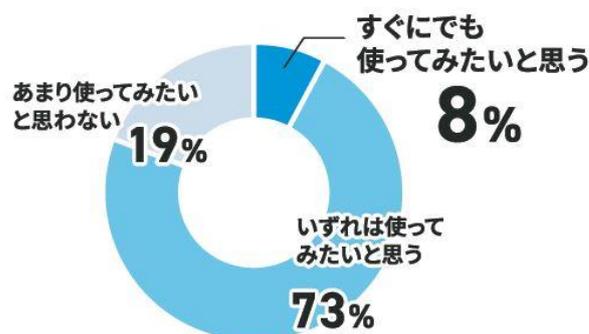
- ・会計事務所では、「いずれは使ってみいたい」が 67%、「すぐにでも使ってみいたい」が 10%
 - ・企業・事業主では、「いずれは使ってみいたい」が 73%、「すぐにでも使ってみいたい」が 8%
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに多くが将来的な生成 AI の利用に前向きな姿勢

Q (「生成 AI」を使ったことが「ない」と答えられた方について)
 今後「生成 AI」を使ってみたいと思いますか？

<会計事務所編>



<企業・事業主編>

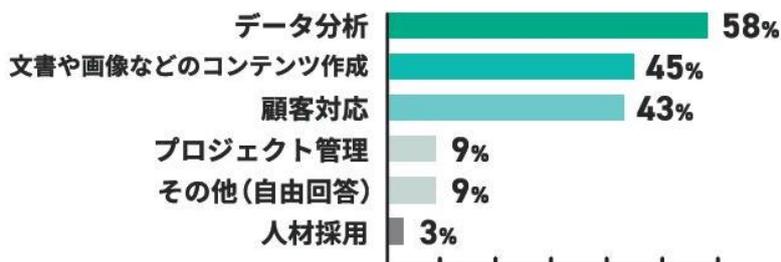


— 生成 AI を使ってみたい・試してみたい業務 —

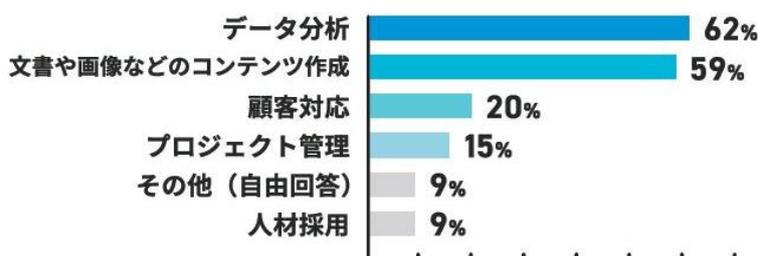
- ・会計事務所では、「データ分析」が 58%、次いで「文書や画像などのコンテンツ作成」が 45%、「顧客対応」が 43%
 - ・企業・事業主では、「データ分析」が 62%、次いで「文書や画像などのコンテンツ作成」が 59%
- ➡業務効率化やデータ活用、サポート機能に対する期待が高い

Q 会計事務所・職場でどのような業務に生成 AI を使ってみたい、または試してみたいですか？ ※複数選択可

<会計事務所編>



<企業・事業主編>



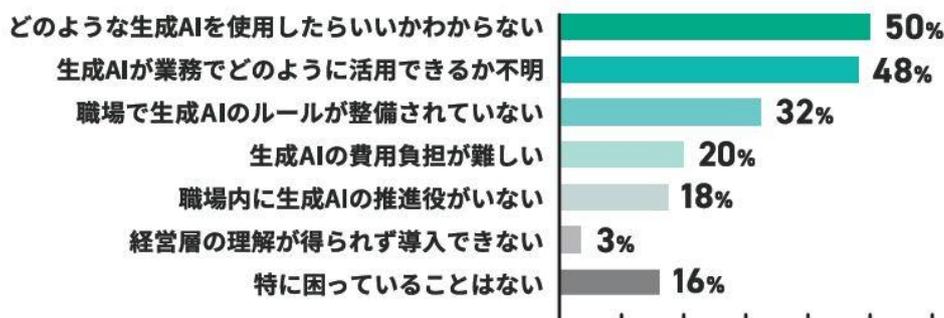
— 会計事務所・職場で生成 AI 利用にあたり困っていること —

- ・ 会計事務所では、「どのような生成 AI を使用すればよいか分からない」が 50%、「生成 AI が業務でどのように活用できるか不明」が 48%。次いで、「ルール整備」「費用負担」などに課題
 - ・ 企業・事業主では、「生成 AI が業務でどのように活用できるか不明」が 50%、「職場で生成 AI のルールが整備されていない」が 44%。次いで、「どのような生成 AI を使用すればよいか分からない」、「費用負担」などに課題
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに「生成 AI を業務でどのように活用できるか不明」が半数近く、導入を推進するための体制構築への悩みがうかがえる

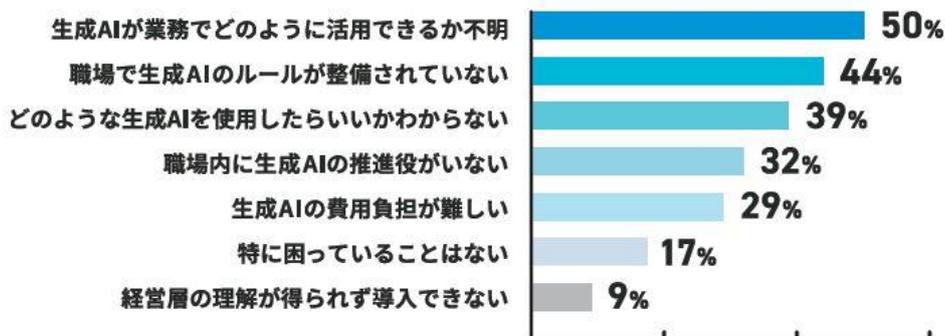
Q 会計事務所・職場で生成 AI を使うために困っていることはありますか？

※複数選択可

< 会計事務所編 >



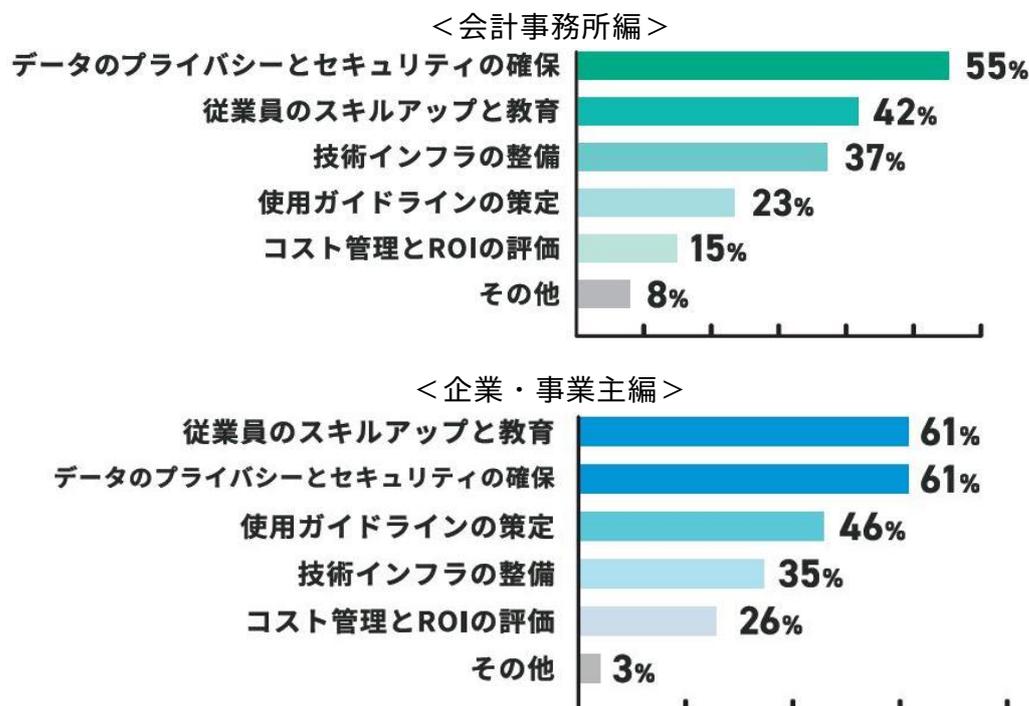
< 企業・事業主編 >



— 生成 AI 利活用のために取り組むべき課題 —

- ・ 会計事務所では、「データのプライバシーとセキュリティの確保」が 55%、次いで「従業員のスキルアップと教育」が 42%
 - ・ 企業・事業主では、「従業員のスキルアップと教育」と「データのプライバシーとセキュリティの確保」がともに 61%
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに「データセキュリティ対策」を課題をとして認識

Q 会計事務所・職場で生成 AI を利活用するための取り組むべき課題として認識されていることを記述してください。※複数選択可



— 調査結果から —

本調査の実施結果から、生成 AI を利用したことがある会計事務所は 39%であり、一定数の会計事務所では活用が進んでいる一方、61%が未だ使用していない現状が浮き彫りとなりました。この結果から、生成 AI に関心があるものの、導入への一歩を踏み出せていない会計事務所が多いことが読み取れます。

また、企業・事業主においては、生成 AI を利用したことがある企業は 55%に達し、半数以上が生成 AI を業務に取り入れていることが分かります。一方で、45%の企業はまだ利用しておらず、生成 AI の導入に向けたさらなる支援が必要とされています。

MJS では、IT 分野に精通した IT コーディネーター有資格者が伴走支援し、生成 AI などのデジタル技術の有効活用による業務課題や経営課題解決を実現するサポート体制を整えております。

■ **会計事務所検索エンジン** (<https://www.accnt.jp/>)

全国の会計事務所と企業をつなぐ、ビジネスマッチングサイト。全国の会計事務所から、企業の要望にピッタリの会計事務所を無料で見つけられるサイトです。基本情報の他に、事務所の得意分野や業種、対応ソフト等についても掲載されていますので、相談内容・目的にあった事務所が見つけられます。また、選択した会計事務所のホームページにリンクされていますので、詳細を知ることができ、直接会計事務所にお問い合わせすることも可能です。

■ **株式会社ミロク情報サービス(MJS)について** (<https://www.mjs.co.jp/>)

全国の会計事務所と中堅・中小企業および小規模事業者に対し、経営システムおよび経営ノウハウならびに経営情報サービスを提供しています。現在、約8,400の会計事務所ユーザーを有し、財務会計・税務を中心とした各種システムおよび経営・会計・税務等に関する多彩な情報サービスを提供しています。また、財務を中心としたERPシステムを利用する約18,000社の中堅・中小企業をはじめ、約10万社の企業ユーザーを有し、各種ソリューションサービスの提供および企業の経営改革、業務改善を支援しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ミロク情報サービス
社長室 経営企画部 広報・IRグループ 宮城・安藤
Tel: 03-5361-6309
Fax: 03-5360-3430
E-mail: press@mjs.co.jp